

平成25年度 新吉田地域ケアプラザ事業実績評価

	平成25年度について	平成26年度に向けて
地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・包括部門で把握した個別課題を、地域交流部門や地域の支援者とも共有し、課題解決に向けて自主企画事業や地域主体の活動内容にも反映できるよう取り組まれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、4職種で連携しながら、相談者のニーズに合わせて柔軟な対応を心がけ、適切な支援につなげて頂きたい。合わせて、様々な機会を捉えて、ケアプラザで把握した地域課題を関係機関と情報共有しながら、解決に向けた検討の場づくりを充実させて頂きたい。 ・ひっとプラン港北のサポートスタッフとして引き続き、区、区社協と連携し、団体間の橋渡しを担って頂きたい。 ・今年度新たに始めたチーフ会議の運営等を通じて、部門間をまたぐ事業展開など新たな取組にチャレンジできる風土づくりや人材育成に取り組むとともに、引き続き個人情報情報の適切な取扱い、事故防止等に努めて頂きたい。
地域活動交流部門	【福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供】 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや情報配信メール等、電子媒体を活用した情報発信は、効果的な広報手段として、徐々に地域に定着してきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉保健活動団体の活動の場がさらに広がるよう、活動者の負担軽減を図りつつ、団体同士の連携強化にも取り組んで頂きたい。 ・引き続き、関係機関と連携しながら地域の実情や課題に応じた自主事業の展開を期待している。 ・新たに取り組むボランティア連絡会等の場を活用して、団体同士のネットワーク化と、地域ケアプラザとの連携体制の構築を図って頂きたい。
	【福祉保健活動団体等が活動する場の提供】 <ul style="list-style-type: none"> ・趣味活動の団体に、福祉保健分野での活動の場を提供した事で、活動内容の充実と共に各種事業の参加者増加にもつながっている。 	
	【自主企画事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・精神疾患や認知症の正しい理解のための普及・啓発に関する講座の実施にあたっては、当事者や家族、支援者の声を反映して実施内容が工夫されており、地域住民の理解の促進に積極的に取り組んでいる。 	
	【ボランティアの育成及びコーディネート】 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動の継続に向けて、地域のボランティア団体の活動の場に積極的に出向き、活動者と共に活動の支障となっている課題解決に向けた検討がされている。 ・担当地区にある区ボランティアセンター出張所の機能充実に向けて、適宜情報提供や支援を行っている。 	
地域包括支援センター	【総合相談・支援】 <ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラザの広報誌の活用、包括チラシの配布、地域組織の会合への参加、老人会での出張講座の開催等に取り組む、包括の相談窓口機能の周知を図ると共に、認知症や介護保険制度等に関する情報提供、新たな地域及び個別課題の把握と対応等に努めている。このような取り組みを実施した結果、前年度に比して地域からの出張講座開催依頼が増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、包括の周知活動に努め、相談窓口機能の強化を図って頂くと共に、区をはじめとした関係機関と情報を共有する機会を充実させ、連携体制の強化に力を注いで頂きたい。 ・今後も、チームアプローチを要するケースに関しては、区をはじめとした関係機関と連携して、柔軟な役割分担のもとに迅速な支援をお願いしたい。
	【権利擁護】 <ul style="list-style-type: none"> ・上記の取り組み等によって、民生委員をはじめとした地域住民から、地域や個別のケースに関する情報を得られる関係性を構築しており、課題への早期かつ迅速な対応を試みている。 ・行政書士による無料相談会を地域向けに実施すると共に、ケアマネジャー等からの成年後見制度の活用に関する相談に対応している。また、必要に応じて、あんしんセンターや行政書士等の専門家への橋渡しを行っている。 ・認知症の方への対応として、新吉田あすなろ地区の徘徊ネットワーク“あすなろさがしてネット”を新吉田地区へ拡大し、見守り体制及び地区間のネットワークの強化に取り組んでいる。また、今年度は介護者のつどいを2回開催し、介護者への支援を強化した。 	

	<p>【介護予防ケアマネジメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本チェックリストを積極的に実施し、二次予防対象者の把握と支援に努めた。 ・地域の介護予防の拠点となる元気づくりステーションを立ち上げ、虚弱高齢者の健康づくりや介護予防への取り組み強化につながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、二次予防・介護予防支援対象者の把握と支援に取り組み、主体的活動、社会参加などの自立支援につながるようお願いしたい。
	<p>【包括的・継続的ケアマネジメント支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域組織の会合への定期的な参加、地域組織との共催による出張講座の開催等を通し、地域組織との関係性の強化に取り組んでいる。また、福祉施設が多いという特色から、施設間の顔が見える関係性の構築のため、施設連絡会を今年度から独自に開催している。 ・地域ケアカンファレンスを通して、ケアマネジャーが医療従事者等との顔が見える関係を構築できるように支援すると共に、知識の向上を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議等を活用し、エリア内のフォーマル及びインフォーマルなサービス実施機関の連携体制の構築及び強化をお願いしたい。 ・今後もケアマネジャー等からの相談に対応すると共に、積極的に働きかけをして頂き、支援者の知識の向上及び顔が見える関係性の強化を図って頂きたい。
<p>地域 地域 ン包 タ活 タ交 支 援 流 セ</p>	<p>【介護予防事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区と協働し、地区関係者、関係機関と丁寧に調整を行い、元気づくりステーションの活動を支援している。 ・地域活動交流と協働して対象特性に配慮した介護予防教室を開催し地域参加を促している。また地域の自主活動団体に出向き介護予防の普及啓発と活動支援に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・元気づくりステーションは、自主活動期を迎えるが、参加者による自主的な活動と安定した運営に向けて引き続き支援をお願いしたい。 ・数ある地域の自主活動団体間の交流を深め息の長い活動となるよう支援することと、介護予防に取り組む団体やサロンが高齢者が歩いて通える範囲に存在するよう地域と連携して取り組んで頂きたい。

平成25年度 篠原地域ケアプラザ事業実績評価

	平成25年度について	平成26年度に向けて
地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・4職種間の情報共有を積極的に行っており、それぞれの事業についても連携する体制ができています。 ・定例ケアカンファレンスの他にエリア会議を随時開催することによって、関係機関が地域課題と支援の方向性について共通認識を持つ場をつくらせている。 ・地域の様々な催しや会議に積極的に参加することによって地域の信頼を得、福祉保健活動の拠点としての役割を担っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援や地域活動から把握した地域課題を職員間のみならず、行政や区社会福祉協議会等と共有し、事業につなげてほしい。 ・住民の孤立防止や見守り、介護予防など、地域課題とニーズに基づいた効果的な事業展開を期待する。 ・ひとつプラン港北のサポートスタッフとして引き続き、区、区社協と連携し、地域課題の解決に取り組んで頂きたい。 ・職員の研修計画の作成や研修担当職員の配置、所長と職員の面談などを通じて引き続き人材育成に取り組むとともに全体研修で行っている個人情報保護、事故防止などについても引き続き実施して頂きたい。
地域活動交流部門	<p>【福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の福祉保健活動団体と良好な関係を築くことによって、社会資源に関する情報をよく把握している。 ・広報紙に子育て関係の事業を多く掲載し、幅広い世代が利用できる地域ケアプラザのPRにつながっている。 <p>【福祉保健活動団体等が活動する場の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・併設地区センターとの役割を分担することで、福祉保健活動団体が継続的な活動できるような支援につながっている。 <p>【自主企画事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の福祉保健活動団体と連携して事業を企画することによって、地域のニーズを反映した事業展開ができています。 ・「わがまち篠原」がより住民主体の活動となるよう努力している。 <p>【ボランティアの育成及びコーディネート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パパ支援事業や「とも・とも篠原」が新たなボランティアの育成につながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅に閉じこもりがちの方や、若い世代に、より多くの情報を届ける方法を検討してほしい。また、地域のホームページが有効に運営されるよう支援をお願いしたい。 ・地域の福祉保健活動団体の支援と、新たな活動の定着に、今後も継続した支援を期待する。
地域包括支援センター	<p>【総合相談・支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の民生委員・児童委員、自治会等の会議に積極的に参加し、支援体制構築を進めており、様々な相談に対応している。また、相談者に対し、医療機関・司法専門家等への紹介を行い、専門的な相談にも対応できている。 ・地域ネットワーク構築のため、区社協と共同で「身近な地域での住民のつながり、支えあい活動」を進め、地域のつながりを強固にしようと努力している。 ・ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進事業を実施し、実態把握を進めている。また、チラシや包括カードを配布し、地域住民への啓発や相談しやすい体制づくりを構築している。 <p>【権利擁護】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見、相続、消費者被害等など、地域住民の関心が高いテーマについて、相談会や講座を行い、啓発活動を積極的に実施したことで、住民の意識が高まり、行政書士等の司法専門家への相談件数が増加している。 <p>【介護予防ケアマネジメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防に関する出前講座や地域の介護予防の拠点となる元気づくりステーションなどで二次予防対象者の把握と支援に努めた。このことが、虚弱高齢者の健康づくりや介護予防への取り組み強化につながった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進事業により、支援につながったケースも多く、今後も継続して取り組んでいただきたい。また、地域のネットワーク構築・専門支援機関等との連携も同様に行って頂きたい。 ・包括カードの成果として、これまで相談に来なかった高齢者層にも包括の存在が浸透してきているのは事実なので、今後も地域に包括の存在と機能の周知を図ってほしい。 ・居宅介護事業所等からの相談に対し、連携をはかりながら柔軟なケース対応・相談体制が取れるようお願いしたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見、相続、消費者被害等の相談は今後も増加すると予想されるため、定期的な講座開設、専門家等との連携などをより進めて頂きたい。また包括でも後見人の相談を受け、申し立ての支援を行ってほしい。 ・来年度は高齢者虐待に関する啓発を区民向けに行うよう、お願いしたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、二次予防・介護予防支援対象者には、主体的活動、社会参加などの自立支援につながるフォローをお願いしたい。

	<p>【包括的・継続的ケアマネジメント支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の介護者による介護者のつどいを年数回実施し、心情・地域の情報の共有ができています。 ・地域ケア会議を実施し、個別ケースに関しての検討を行い、地域資源と民間介護事業所との情報共有・連携が図れる体制づくりに取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護者のつどいは、介護者同士の心情が共有でき、互いに励まし、相談し合える場として機能しているので、今後も内容を検討しながら継続してもらいたい。 ・地域ケア会議を活用し、インフォーマルな地域資源・医療機関・民間介護事業所等との連携を図れるように、取り組んで頂きたい。
<p>地域 包括 支援 センター ・ 地域 活動 交流</p>	<p>【介護予防事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区アセスメントの上、区行政と協働し、地区関係者、関係機関と丁寧に調整を行い、住民の自助・共助による介護予防の拠点、元気づくりステーションを立ち上げることができた(2か所)。高齢者が歩いて通える距離に介護予防に効果的なステーションを質、量ともに広げていくための第1歩となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・元気づくりステーションは、区、包括による直営期を終え、今後は参加者による自主的な活動、運営の安定化に向けた働きかけが必要である。地域の方々の主体的な活動へとつながっていけるよう引き続き支援をお願いしたい。

平成25年度 高田地域ケアプラザ事業実績評価

	平成25年度について	平成26年度に向けて
地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・4職種がそれぞれの強みを活かし、ケアプラザ全体で一丸となって各種相談への対応や事業実施、地域活動の支援を実践しており、住民や関係機関から信頼を得ている。 ・精神疾患や障害者の相談においても、まずは受け止め、適切な関係機関につなぐだけでなく、把握した当事者ニーズを自主企画事業に反映させることで、当事者が安心して暮らせる環境づくりに寄与している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親と子のつどいの広場や地元の学校等、身近な関係機関とのつながりを活かし、区と協働して地域課題の解決に向けた地域のネットワークの構築に取り組んで頂きたい。 ・ひっとプラン港北のサポートスタッフとして引き続き、区、区社協と連携し、ネットワークの構築に取り組んで頂きたい。 ・引き続き内部、外部研修等の受講による職員のスキルアップ及び各部門が連携して取り組む自主事業などを通じた人材育成に取り組むとともに個人情報適切な取扱いや事故防止等に努めて頂きたい。
地域活動交流部門	<p>【福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラザ広報誌に、新たに地域事業カレンダー欄を設ける等、住民にとって親しみやすく、より分かりやすい情報提供に取り組んでいる。 <p>【福祉保健活動団体等が活動する場の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の重要な活動拠点として認知されており、また利用団体が地域活動に参加するきっかけづくりがされている。 <p>【自主企画事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間づくりや体験講座等、気軽に参加しやすいテーマを設定した事業実施により、地域ケアプラザと馴染みのない住民参加にもつながっている。 ・事業実施にあたっては、地域の関係団体からも協力を得ており、住民との協働を重視する姿勢は評価できる。 <p>【ボランティアの育成及びコーディネート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的開催されている地区ボランティア連絡会と連携して、個人ボランティアと既存の活動団体をつなぐ等、ボランティア同士のネットワーク化に努めている。 ・障害分野の担い手ニーズの増加に合わせて、既存の自主企画事業の場を活用した担い手育成に積極的に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラザ以外に、地域で福祉保健活動に利用できる場の情報把握にも努めつつ、さらに活動しやすいケアプラザの施設利用の環境づくりにも取り組んで頂きたい。 ・自主企画事業への参加をきっかけとした地域活動へのデビューや新たな担い手の発掘にもつなげて頂きたい。 ・引き続き、ボランティアの発掘と育成を進めると共に、ボランティア同士のつながりを活かし、ボランティア活動のノウハウが共有されるようなコーディネート心を心がけて頂きたい。
地域包括支援センター	<p>【総合相談・支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進事業により、ケースの発掘ができています。民生委員とも、見守り訪問事業においては、定例会と別途で情報交換会を設けて、丁寧に取り組んだ。 ・高齢者だけでなく、障害者の相談も積極的に受け、そこから事業を展開させることができています。 ・包括内の情報共有を進めることで、誰が相談を受けてもケースにつながるができています。 <p>【権利擁護】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「悪徳商法」「オレオレ詐欺」が多いことが報告されており、高田地区で被害があった時は、区にも情報共有されていた。地域住民が集まる場でも啓発されていた。 ・今年度は「介護者のつどい」も参加者が増えた。参加者の傾聴に努め、ピアカウンセリングを行えた。当事者グループのぶどうの会ともよい関係が構築できている。 <p>【介護予防ケアマネジメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生きいきサロン」、「骨密度測定」など地域住民が集まる場では基本チェックリストが行われていた。 ・デイケア、デイサービスなどの地域の情報を集め、その方に必要な介護予防が行われるようにサービスを提供していた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も民生委員との関係を大切にし、相談・支援が地域に届くようにしてほしい。民生委員だけでなく、地域住民からも相談が入るような関係づくりに取り組んでいってほしい。 ・相談内容を限定せず、地域の相談窓口として地域に浸透していけるように努めてほしい。4職種でケースを共有し、多様な支援方法を検討してほしい。今後も高齢者だけではなく、障害者からの相談も受け、地域の課題を見出していく役割もお願いしたい。 ・今後も地域住民に対して、権利擁護の必要性を啓発してほしい。また、地域でも見守りの必要性を啓発してほしい。 ・介護者のつどいは、今後もぜひ継続してほしい。介護者のつどいをケアマネジャーにも啓発して、利用者を増やしてほしい。 ・引き続き、港北区成年後見サポートネットへの参加を通して、普及啓発、困難事例への対応強化をはかってほしい。 ・今後も地域住民が集まる場では基本チェックリストを行い、介護予防の必要性のある方を発掘してほしい。また、地域住民が集まる場だけではなく、訪問の際などにもぜひ活用して、潜在的なニーズの発掘に努めてほしい。

	<p>【包括的・継続的ケアマネジメント支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年民生委員とケアマネジャーの懇談会を行い、顔の見える関係づくりに努めている。 ・ヤクルトレディに対して認知症サポーター養成講座を実施した。地元企業にアプローチするなど積極性がみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も地域の様々な関係者との顔の見える関係づくりに取り組んでほしい。 ・今後も認知症サポーター養成講座の実施し、対象者の発掘に努めてほしい。
<p>地域活動交流・地域包括支援センター</p>	<p>【介護予防事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防教室を地域の中学校で行い、中学生にボランティアをお願いしていた。参加者も中学生も双方により効果がみられた。教室終了者をOB会につなげ、継続支援に結び付けていた。 ・9月に行われた認知症予防講演会も参加者が多く、満足度の高い教室になっていた。 ・2月からウォーキング講座を実施する予定である。講座からOB会の立ち上げが行われるように支援していくとなので、自主的な運営ができるOB会となるように支援することが望まれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・25年度の介護予防事業では中学生ボランティアに入ってもらった。今後も世代間交流が行われるような工夫をお願いしたい。 ・高田地区にはフラミンゴ、ふきのとう、やじろべえといったOB会があるため、教室参加者以外にも介護予防に取り組みたい人が随時取り組んでいけるように、既存資源をうまく活用してほしい。 ・ふらっと高田での介護予防教室を計画しているように、ケアプラザ以外の介護予防教室の開催に努めてほしい。 ・OB会が立ち上がるようであれば、継続的な運営ができるように、継続した支援を行ってほしい。

平成25年度 下田地域ケアプラザ事業実績評価

	平成25年度について	平成26年度に向けて
地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・包括部門、地域交流部門がそれぞれの専門性や経験を活かし、連携して各種相談への対応や事業実施をしている。 ・利用団体との情報交換や地域の様々な会議の場でも、積極的に地域課題の把握に努めている。 ・同じ地区を担当する日吉本町地域ケアプラザとは地域課題や支援の方向性がしっかりと共有されており、適宜役割を分担しながら一体的に地域支援にあたっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主グループ活動が安定して継続できるよう、参加者に寄り添いながら課題解決に向けた支援をお願いしたい。 ・引き続き、地域や関係機関に積極的に向き、そこで把握した地域課題やニーズを活かした事業展開をお願いしたい。 ・ひとつプラン港北のサポートスタッフとして引き続き、区、区社協と連携して、地域支援に取り組んで頂きたい。 ・引き続き内部、外部研修へ積極的に参加し、職員の人材育成に努めていただくとともに定例連絡会議等を活用して個人情報の適切な取扱い、事故防止等に努めて頂きたい。
地域活動交流部門	【福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の福祉保健活動団体から、活動状況や課題の把握に努め、相談支援の場面に活かしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・貸館利用団体の活動の場が地域にも広がるよう、引き続き情報提供やコーディネートに努めて頂きたい。 ・自主活動グループの活動継続に伴い生じている様々な課題の解決に向けて、2部門で連携した支援をお願いしたい。 ・引き続き、ボランティア個々の特技が発揮できるような場の提供、活動のコーディネートに取り組んで頂きたい。 ・福祉教育をきっかけとした学校とのつながりを活かし、必要に応じて協力連携した事業展開に発展させる可能性についても検討いただきたい。
	【福祉保健活動団体等が活動する場の提供】 <ul style="list-style-type: none"> ・貸館利用団体との共催による自主企画事業の実施は、活動の場の確保と共に、活動者のモチベーション向上にもつながっている。 	
	【自主企画事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・自主企画事業から立ち上がった数々の自主活動グループに対して、運営へのアドバイス等のきめ細やかなフォローがされている。 ・子育て分野においては、地域ニーズを敏感に把握して事業の実施形態を工夫しており、子育て当事者の交流の場づくりに積極的に取り組んでいる。 	
	【ボランティアの育成及びコーディネート】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域のボランティア団体の活動には積極的に関わり、適宜相談対応や広報の支援をすることで、活動継続に寄与している。 ・ボランティアニーズに対して、ケアプラザで把握している人材や活動の情報を活かしたコーディネートがされている。 	
地域包括支援センター	【総合相談・支援】 <ul style="list-style-type: none"> ・相談が増加しているが、それは地域の身近な相談窓口として住民や民生委員等関係者に広く認知されている結果と思われる。 ・相談内容の傾向から、有料ホームセミナーを実施する等、地域住民の要望にそった支援が行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会町内会、民生委員との情報交換については引き続き実施し、顔の見える関係づくりに取り組み、地域の課題の解決や、個別の相談につなげ、事業にもいかして頂きたい。 ・来所、訪問問わず包括内の他職種で連携、他機関とも調整し支援をして頂きたい。
	【権利擁護】 <ul style="list-style-type: none"> ・後見申立て支援が必要な方に対し、必要な機関への調整や申立て書類作成支援が行われている。 ・介護者のつどいは年間を通して実施され、認知症の方を介護する家族のストレス軽減につながっていると思われる。 	
	【介護予防ケアマネジメント】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域交流部門との情報共有や色々な活動との関わりで細やかに対応できていると思う。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や認知症患者が増加していく中で、今後も成年後見制度等が必要な方に対して、制度の説明や申立て手続きの支援、普及啓発等を専門機関とも協力し、行って頂きたい。 ・介護者のつどいは家族の息抜きの場や情報交換の場になるよう、26年度以降も継続的に実施して頂きたい。またつどいの参加が有効と思われる方には積極的に声掛けし、参加につながる支援をお願いしたい。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・二次予防対象者の把握や訪問、見守りなど細やかに支援されている。元気づくりステーションも2か所立ち上がり、今まで把握し関わっている人を上手につなげることができている。引き続き、色々な活動との関わりの中で、介護予防アセスメントの取り組みをお願いしたい。また今後も地域の窓口として、多職種で連携をとりながら支援を継続して頂きたい。 	

	<p>【包括的・継続的ケアマネジメント支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の関係会議やイベントには包括・地域交流担当者 と連携して参加しており、また、関係団体や地域の要望 に合わせた講座が実施されている。 ・ケアマネジャーからの相談にも随時対応され、事例検 討会も定期的に開催し、支援が行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療関係者やケアマネジャー等と、個別の相談や各研 修事例検討等を通し、さらに連携を図って頂きたい。今 年度からは地域ケア会議を活用し、地域課題や個別課 題の解決に取り組めるよう、関係機関とのネットワークを いかして頂きたい。
<p>地 域 ン 包 括 活 動 支 交 援 流 セ</p>	<p>【介護予防事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性に合わせた活動を行うとともに、地域の支 援者への育成もできている。 ・元気づくりステーションについては2か所立ち上がり、自 主化に向けた支援が行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・元気づくりステーションは2か所立ち上がり、自主活動 に向けての支援ができている。地域の活動となるよう引 き続き支援を継続して頂きたいと思う。また地域の支援 者の育成も引き続き継続して行って頂きたい。

平成25年度 大豆戸地域ケアプラザ事業実績評価

	平成25年度について	平成26年度に向けて
地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・個々のケースや地域活動から把握する地域課題を、4職種が積極的に共有し、それぞれの事業について連携する体制ができている。 ・施設から遠いエリアには出張相談会を頻回に開催するなどして施設の認知度を向上させ、地域からの信頼も得ている。 ・高齢者支援だけでなく、子育てや障害者支援についても、関係機関と連携して取り組み、そのことが個別支援にもつながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、多様な地域の特性にあわせ、行政と連携して柔軟な支援をお願いしたい。 ・ひっとプラン港北のサポートスタッフとして引き続き、区、区社協と連携して、地域支援に取り組んで頂きたい。 ・各職員が計画的に研修に参加できる環境づくりや各種会議、管理職との面談等、常に意見交換ができる環境づくりを通じて人材育成に努めるとともに個人情報適切な取扱い、事故防止等についても引き続き取り組んで頂きたい。
地域活動交流部門	<p>【福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のイベント等に参加したり、関係団体との連携を深めたりすることによって、地域のニーズや課題の把握に努めている。 <p>【福祉保健活動団体等が活動する場の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単なる活動場所の提供だけではなく、利用する団体の活動発表と、交流の機会(大豆戸芸術フェスタ)を提供し、活動の拡がりを支援している。 <p>【自主企画事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の企画にあたっては、地域の活動団体や人材を活用し、より地域に根差した内容になるよう心掛けていることがうかがわれる。 <p>【ボランティアの育成及びコーディネート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアに対して新たな活動を提案するなど、ボランティアが活動しやすい環境づくりに努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人材や福祉保健活動団体との良好な関係を維持し、地域のニーズにあった事業展開を期待する。 ・施設から遠い地域に対し、地域包括支援センターと連携した継続的な支援をお願いしたい。
地域包括支援センター	<p>【総合相談・支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三職種間で連携して支援体制を組んでおり、医療・介護サービス・地域・専門分野など幅広い相談に対応し、必要に応じ関係機関にスムーズに結び付けている。また、出張相談会を開催し、一人暮らしの高齢者宅を地図化し、アウトリーチの視点で地域での実態把握に努めている。 ・関係機関への周知活動としてケアプラザの案内を各所に配布し、地域への啓発活動を行っている。 <p>【権利擁護】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民向けに消費者被害啓発セミナーや行政書士相談会を行うなど、権利擁護や契約関係について広く専門職からアドバイスを受けられる機会を設定している。 ・虐待事例については早期対応・介入のための研修に参加し、認知症支援についてもサポーター養成講座を地域に向けて実施し、多数の参加者に認知症支援の啓発を行っている。 <p>【介護予防ケアマネジメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェックリストを活用し、二次予防対象者を把握、必要時ケアプラザの事業につなぐことができている。また、地区活動から地域特性、課題についてアセスメントした上で次年度の事業計画が立てられている。 <p>【包括的・継続的ケアマネジメント支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護者のつどいを年数回開催、フォローの場になっている。また、介護者のつどいにつながるようにテーマを設定し参加者が増えるように工夫している。 ・4地区の民児協に積極的に参加している。今年度は民児協を対象に認知症サポーター養成講座を実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後とも民間居宅介護事業所も含めた関係機関との連携を深め、多様化する地域課題を解決する柱のひとつとして活動を担ってほしい。相談から地域ニーズの発掘と分析を深め、アウトリーチを含めた支援体制構築の一層の強化をお願いしたい。 ・地域の相談拠点として、案内の配布などはもちろん、地域との交流の中からの顔の見える関係作りからの啓発活動がさらに発展していくよう期待する。 <p>・今後も権利擁護の相談は増えていくので、定期的な相談会等の開催や専門職との連携をお願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虐待については職員の研修などの研鑽と居宅介護事業所などの対応力の向上のための支援を引き続きお願いしたい。認知症支援は介護者支援とともに、サポーター養成講座を多分野の対象者に開催できるよう地域ネットワークを活かしてさらなる啓発を期待する。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題に合わせた事業(口腔ケア、栄養改善プログラム)を計画できている。 ・次年度行われる認知症予防の事業と合わせて、虐待予防の啓発を行って頂きたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・包括ケアカンファ等で定期的に地域に関わる地域特性、課題について検討する機会を持つことができた。次年度も引き続き区と包括で検討する機会を持っていきたい。 ・今年度と同様、次年度も民児協と連携をとって事業開催をお願いしたい。

<p>地域包括活動支援センター</p>	<p>【介護予防事業】 ・大倉山元気づくりステーションの立ち上げのために地域と話し合い、地区の特徴や課題について共有することができた。25年9月より元気づくりステーションが始まり、地区、包括、区が協力して活動を行っている。</p>	<p>・新たな元気づくりステーションの立ち上げに向けて、地域への働きかけを協力して行っていきたい。 ・既存の元気づくりステーションは、自主活動期となるため参加者による自主的な活動と安定した運営に向けて引き続き支援をお願いしたい。</p>
---------------------	--	---

平成25年度 樽町地域ケアプラザ事業実績評価

	平成25年度について	平成26年度に向けて
地域 ケア プラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・広い担当エリアを抱えながらも、4職種が連携してきめ細やかに支援にあたっている。施設内での情報共有もできており、それぞれの事業について連携する体制ができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、各地区の特性に応じて柔軟な支援をお願いしたい。 ・ひとつプラン港北のサポートスタッフとして引き続き、区、区社協と連携して、計画の推進支援をして頂きたい。 ・引き続き内部、外部研修等の受講による職員のスキルアップ及びサービスの充実に努めて頂きたい。また個人情報適切な取扱い、事故防止等についても引き続き取り組んで頂きたい。
地域 活動 交流 部門	<p>【福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の福祉保健活動団体と良好な関係を築くことによって、社会資源に関する情報をよく把握している。 ・把握した情報を自ら発信するだけでなく、地域が行う情報発信に活かし、住民主体の活動支援につながっている。 <p>【福祉保健活動団体等が活動する場の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の重要な活動拠点として認知されており、利用団体の支援もきめ細かに行っている。 <p>【自主企画事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域的にニーズの高い子育て支援関連の事業を中心に、地域と連携した事業実施に努めていることがうかがわれる。 <p>【ボランティアの育成及びコーディネート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域支援を通じて人材の把握やコーディネートを積極的に行うほか、自主企画事業として趣味の講座からボランティア育成につなげる工夫をするなど、近隣学校と連携し、地域の子どもたちへの福祉理解や啓発に取り組むことにより、次世代の人材育成に寄与している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も地域の福祉保健活動団体と良好な関係を維持し、地域のニーズにあわせた事業の展開を期待する。 ・施設から遠い地域への支援は、区や区社会福祉協議会、地域包括支援センターと連携し、今後も柔軟に対応をお願いしたい。
地域 包括 支援 セン ター	<p>【総合相談・支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エリアが広い中、各地区民児協定例会に出席しながら顔の見える関係づくりに取り組んでいった結果、今まで相談が少なかった地区からも相談が寄せられる仕組みを作ることができている。 ・ケアマネジャーとの事例検討会を定期的開催し、エリア内事業所との相談や連携の強化が図られている。 <p>【権利擁護】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養護者支援の取り組みとして介護者交流会を毎月実施しており、参加者も増加傾向であるため地域の受け皿としての役割を担っている。 ・認知症サポーター養成講座を積極的に展開し、今年度は中学校を対象に実施するなど対象の幅を広げている。虐待や緊急対応ケースについては、区や関係機関と連携を図りながら対応することができている。 <p>【介護予防ケアマネジメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域交流担当と連携しながら今まで未開催だった地区で介護予防講座を実施することができ、講座終了後には自主活動となるよう立ち上げ支援を行うことができた。 ・各地区活動や各種相談を通じ介護予防対象者に地域の体操教室など情報提供することで、介護予防活動への参加を促している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も各地区民児協と顔の見える関係づくりに取り組み、地域から相談しやすい仕組みづくりを継続して頂きたい。 ・エリア内のケアマネジャーとの相談・連携を密にするためにも事例検討会の開催を継続し、相談支援において柔軟な対応が図られるよう引き続きケアマネジャー支援をお願いしたい。 ・認知症や成年後見、消費者被害等の相談は今後も継続すると予測されるため、引き続き養護者支援に取り組むことと、認知症サポーター養成講座などを通じて地域向けの普及啓発に取り組んで頂きたい。 ・平成25年度に引き続き、日常的なケース支援を行いつつ、処遇困難ケースや虐待ケースなどについては区や関係機関と連携し役割分担しながら一緒に支援していきたい。 ・平成25年度に引き続き、二次予防・介護予防支援対象者には、主体的活動、社会参加など自立支援につながる取り組みをお願いしたい。 ・介護予防の自主活動がない綱島西地区に対して講座実施し、ボランティア育成を行いながら介護予防グループが立ち上がるよう支援して頂きたい。

	<p>【包括的・継続的ケアマネジメント支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地区の民児協定例会に出席することにより、地域の情報共有や相談しやすい体制づくりに取り組んでいる。 ・今年度は師岡地区の民児協とケアマネジャーとの懇談会を実施し、顔の見える関係づくりに取り組んでいる。 ・地域の認知症キャラバンメイト同士の交流会を行っており、キャラバンメイトと協力しながら認知症サポーター養成講座を積極的に展開することができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジャーとの事例検討会や地区民児協との懇談会を引き続き開催し、地域資源や居宅介護事業所、医療機関などと連携がより図られるよう取り組んで頂きたい。
<p>地域包括支援センター 地域活動交流</p>	<p>【介護予防事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域交流担当と連携しながら今まで未開催だった地区で介護予防講座を実施することができ、講座終了後には自主活動となるよう立ち上げ支援を行うことできた。また、講座開催にあたっては、自主化の土台作りとなるようボランティア講座を実施するなど人材育成にも取り組み、計画的に介護予防講座を実施することができた。 ・エリア内2か所で実施している元気づくりステーションに対しては自主活動の後方支援を行いながら、地域の方へのPRや参加を促している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度に引き続き未開催地や自主グループがない地区で介護予防講座を行い、介護予防の自主グループ立ち上げを支援して頂きたい。平成26年度については地区社協などと連携しながら綱島西地区での介護予防講座の実施及び自主化に向けた取り組みを展開して頂きたい。 ・元気づくりステーションは自主活動として実施しているが、今後も参加者による自主的な活動、運営の安定化に向けた働きかけを行いながら、地域の方々の主体的な活動となるよう引き続き支援をお願いしたい。 ・元気づくりステーションや介護予防団体、ミニデイサービス等の既存組織が継続して活動していけるように、地域住民、関係機関、区と協力しながら支援していきたい。

平成25年度 城郷小机地域ケアプラザ事業実績評価

	平成25年度について	平成26年度に向けて
地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケアプラザが地域見守りネットワーク構築支援事業の後方支援をしっかりと行っている。地域には見守り活動と意識が根付いてきている。 ・定例カンファレンスでは、子育て支援に関する自主企画事業や地域活動についてもタイムリーに情報共有されている。 ・4職種間の情報共有を積極的に行っており、それぞれの事業についても連携する体制ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り活動や城郷地区ボランティア連絡会など、地域主体で立ち上がったネットワークが無理なく継続するよう、支援をお願いしたい。 ・引き続き、地域や関係機関に積極的に出向き、そこで把握した地域課題やニーズを活かした事業展開を期待している。 ・ひとつプラン港北のサポートスタッフとして引き続き、区、区社協と連携して、ネットワークの構築支援に取り組んで頂きたい。 ・引き続き、研修等に積極的に参加し、専門職としての能力向上に努めるとともに業務連絡会議を通じて、個人情報 の適切な取扱い、事故防止等に努めて頂きたい。
地域活動交流部門	<p>【福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙等に事業を多く掲載し地区の回覧版や掲示板等を活用し、幅広い世代が利用できる地域ケアプラザのPRにつながっている。 ・独自に作成したボランティア活動団体の情報紙をイベント時に周知する等、工夫した情報発信がされており、活動者のモチベーション向上にもつながっている。 <p>【福祉保健活動団体等が活動する場の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・併設地区センターと役割分担しながら、福祉保健団体の貸館ニーズに柔軟に対応しており、継続的な活動支援につながっている。 <p>【自主企画事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季に貸館の空き部屋を開放する事業は、熱中症と閉じこもり予防を目的とした画期的な取り組みである。 <p>【ボランティアの育成及びコーディネート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア連絡会を開催する等、地域内でのボランティア同士の連携や課題解決・育成支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、貸館利用団体や地域活動、関係機関から把握した情報を蓄積すると共に、福祉保健活動の場がさらに広がるよう、町内会館やみんなの居場所など、地域にある活動拠点となり得る場所の活用状況についても把握をお願いしたい。 ・引き続き、住民の声を反映しつつ、地域特性に合わせた事業展開を期待している。ボランティア同士の連携促進や新たなボランティアの発掘、育成についても支援をお願いしたい。
地域包括支援センター	<p>【総合相談・支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の民生委員・児童委員、自治会等の会議に積極的に参加し、支援体制構築を進めており、様々な相談に対応している。 ・相談者のニーズに則して情報収集を行い、迅速にサービスへとつなげていっていた。 ・地域の医療機関やインフォーマルサービス等、地域との連携も良好で、顔の見える関係がしっかりと作られていた。そのため、相談しやすい関係作りが出来上がっている。 <p>【権利擁護】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見が必要なケースについて、親族に制度についての具体的な説明及び申立に関する支援を積極的に行っていた。また、振り込め詐欺や消費者被害についての啓発を通じて地域での見守り活動の推進や見守り体制の強化につながった。 ・地域と協働して小学生向けに認知症講演会を実施し、幅広い世代に認知症や高齢者の理解をつなげている。 <p>【介護予防ケアマネジメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本チェックリストを積極的に実施し、二次予防対象者の把握と支援に努めた。 ・地域の介護予防の拠点となる元気づくりステーションを2か所立ち上げ、虚弱高齢者の健康づくりや介護予防への取り組み強化につながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、相談者のニーズ把握に努め、区や医療機関、法律専門家等との連携を深めていってほしい。 ・地域包括支援センターの相談支援業務の強化のため、制度の改正や他の法律知識等の習得を行うなど、幅広い相談分野に対応できるよう専門職員のスキルアップを行ってほしい。 <p>・成年後見制度に関しては年々相談件数が増加傾向にあるので、さらに制度への理解を深め、必要な方に対して区と連携しながら迅速かつ的確に支援を行ってほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者被害について、地域に事例提供を積極的に行うことで、地域の見守り体制を強化してほしい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、二次予防・介護予防支援対象者には、主体的活動、社会参加などの自立支援につながるようお願いしたい。 ・2か所の元気づくりステーションの安定運営を図るためにも、介護予防支援対象者等が活動に参加できるようお願いしたい。

	<p>【包括的・継続的ケアマネジメント支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジャーと民生委員の視点を活かした情報交換会は、顔の見える関係づくりの場となり有意義な企画である。 ・デイサービスのアピールシートの作成や介護セミナー等積極的に地域の介護事業所への支援が行なっていた。 ・介護セミナーを隔月実施し、地域の医師や薬剤師、心理士等により高齢者の生活上すぐに役立つ情報提供が行われている。 ・地域ケア会議を実施し、個別ケースに関しての検討を行い、地域資源と民間介護事業所との情報共有・連携が図れる体制づくりに取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジャーと民生委員との情報交換会を引き続き行ってほしい。 ・地域にある介護保険事業所やサービスを積極的に活用してほしい。 ・介護セミナー及び地域の自主的な介護者のつどいの支援を継続して頂きたい。 ・地域ケア会議を活用し、より地域資源・医療機関・民間介護事業所等との連携を図れるように取り組んで頂きたい。
<p>地域 地域 包括 活動 支援 交流 センター</p>	<p>【介護予防事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区アセスメントの上、区行政と協働し、地区関係者、関係機関と丁寧に調整を行い、住民の自助・共助による介護予防の拠点、元気づくりステーションを立ち上げることができた(2か所)。地域の高齢者により身近な公園や公民館で介護予防に効果的なステーションを立ち上げることが、地域の中での見守りにもつながる支援となっている。 ・にぎやか支えあいリーダー研修開催により区行政と協働し地域内の介護予防体操グループ・サロンの代表者同士の顔つなぎ、共助への支援を積極的に行い課題の共有解決に向けた支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・岸根地区の元気づくりステーションは、区・包括による直営期を終え、今後は参加者による自主的な活動・運営に向けた支援が必要なため、地域の方々の主体的な活動へとつながっていけるよう引き続き支援をお願いしたい。 ・2月末に立ち上げの鳥山地区元気づくりステーションの運営や活動が円滑に行われるよう引き続き支援をお願いしたい。 ・地区内の活動グループ等が継続して安定した活動ができるよう、グループ同士の連携により相互のグループの課題解決ができ充実した活動となるよう、引き続き支援を期待する。

平成25年度 日吉本町地域ケアプラザ事業実績評価

	平成25年度について	平成26年度に向けて
地域ケアプラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・包括部門、地域交流部門が連携して実施している出張型講座は安定した運用がされており、地域活動の活性化に寄与している。 ・地域の福祉保健活動団体の定例会に積極的に出席し、活動に関する相談に応じる事で、活動者との信頼関係が構築されている。 ・地域ケアプラザ、区役所、区社会福祉協議会が地域課題と支援の方向性について共通認識を持つ体制ができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、地域や関係機関に積極的に出向き、そこで把握した地域課題やニーズを活かした事業展開をお願いしたい。 ・ひとつプラン港北のサポートスタッフとして引き続き、区、区社協と連携して、地域支援に取り組んで頂きたい。 ・引き続き内部、外部の継続的な研修を通じた職員のスキルアップ及び個人情報適切な取扱い、事故防止等に向けた人材育成に取り組んで頂きたい。
地域活動交流部門	<p>【福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸館登録団体向けのアンケートを実施し、当事者ニーズを把握するだけでなく、アンケート結果を活かした柔軟な対応に活かされている。 ・ブログの更新頻度を上げるなど、情報発信方法がさらに充実してきている。 <p>【福祉保健活動団体等が活動する場の提供】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸館の空き情報がブログ上でリアルタイムに確認できるようにする等、利用者の視点に立った環境づくりが工夫されている。 <p>【自主企画事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度より実施している保育園と共催の育児講座を拡大させて育児支援交流会として開催したことで、新たな関係機関・団体との連携体制が構築されてきている。 <p>【ボランティアの育成及びコーディネート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の地域のボランティアグループの活動が継続して行えるよう、適宜相談に応じている。 ・ボランティアいきいきポイント事業を活用することで、徐々に登録者の増加につながっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・把握した当事者ニーズや地域の社会資源に関する情報を整理し、さらなる活用方法についても検討して頂きたい。 ・引き続き、既存事業の見直し・工夫に努め、地域の実情や課題に即した事業展開を期待している。 ・活動者の意見を取り入れつつ、イベント参加者から希望者を募るなど、新たなボランティアの発掘と育成に取り組んで頂きたい。
地域包括支援センター	<p>【総合相談・支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括支援センターの機能についてと所在地を載せたオリジナルチラシを民生委員を始めとした地域の社会資源に配布することで、広く周知をするように図っている。 ・エリアが広い中、地域包括支援センターから遠い地区にも積極的に出張相談をした結果、これまであまり相談がなかった地区からの相談も増えている。 <p>【権利擁護】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待の相談が増加している中で、高齢者虐待につながりやすい養護者支援に着目し介護者の為の講座を開催するなど啓発活動に努めている。 ・地域住民の関心が高い遺言や相続等の講座を開き、高齢者の権利擁護につながる活動を積極的に行っている。 <p>【介護予防ケアマネジメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場をケアプラザに限らず地域で行うなど、バリエーション豊かな講座を行っている。 ・出前講座や介護予防講座、元気づくりステーションなどの中で、基本チェックリストを意識的に行い、二次予防事業対象者の把握に努めている。二次予防事業対象者のうち、8名に対して支援計画書を作成し、個別支援を行った。 ・介護予防の計画書作成・評価・見直しにおいて、インフォーマルサービスを活用し、介護保険制度だけに頼らない支援を組み立てている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のケアマネジャーとの事例検討会を今後も広く周知しケアマネジャーだけでなく、民生委員や地域の社会資源に広く参加を促すなど更にネットワークの構築を図って頂きたい。 ・多問題を抱える高齢者本人や家族に対して今後も関係機関と連携して柔軟な支援を行って頂きたい。 ・認知症サポーター養成講座を商店街や学校などこれまで開催をしていなかった対象者にも拡大し実施することで、更に広く周知されるようにサポーター数を増やす活動をして頂きたい。 ・成年後見制度の活用や消費者被害への対応など日頃の相談支援の中で早期対応を引き続き行って頂きたい。 ・変化が見られた際に早期対応ができるように、二次予防事業対象者へのフォローを今後も続けて頂きたい。 ・地域の方で介護予防を推進していくために、出張講座を拡大し、地域を巻き込んだ取り組みを行って頂きたい。 ・平成25年度は対象者の把握ができなかったため、訪問型介護予防事業の対象者の把握に努めて頂きたい。 ・地域資源を活用した介護予防プランの立案について、地域のケアマネジャーなどへ周知し今後も指導して頂きたい。

	<p>【包括的・継続的ケアマネジメント支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的にケアプラザの協力医を交えた事例検討会をエリア内のケアマネージャーと行っている。 ・ケアプラザの協力医と連携し、市民向け講座を実施している。また、ケアマネージャーの業務について、市民に周知するなど、幅広い講座を行っている。 ・医療と介護の連携のためネットワークの構築をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、一般向け講座を医療機関や介護保険事業所などと連携し、開催して頂きたい。 ・エリア内のネットワーク構築のため、事例検討会や懇談会などを積極的に続けて頂きたい。 ・地域ケア会議の実施に向け、今までに構築してきたネットワークを活用し、個別ケースの課題抽出・解決に取り組んで頂きたい。
<p>地域包括支援センター 地域活動交流センター</p>	<p>【介護予防事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般高齢者向けの介護予防講座の企画運営や自治会、民生委員、老人会等での介護予防の普及啓発活動を年間を通して定期的に行っている。 ・地域力を高めるための支援者育成などに力を入れていることで、地域の介護予防への関心が高くなっている。 ・元気づくりステーションへ毎回出向き、ボランティアによる運営の支援に力を入れている。 ・自主グループ支援のため、ボランティア育成研修を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一般高齢者向けの介護予防講座を今後も地域で行う事で、多くの区民が介護予防に取り組める地盤づくりを行って頂きたい。 ・地域のボランティアも世代交代に差し掛かっていることから、新たなボランティアの発掘と育成をして頂きたい。 ・あらゆる世帯の高齢者に対し、個別性のある介護予防計画の作成を今後もお願いしたい。